

BOSS TONE STUDIO for GT-1 の使いかた

BOSS TONE STUDIO for GT-1 (以下、TONE STUDIO) の使いかたを紹介します。

TONE STUDIO を使う準備

TONE STUDIO のことば

ライブラリー

TONE STUDIO 内の記憶エリアです。
BOSS TONE CENTRAL (P.13) からダウンロードした
パッチ(ライブセット)や、GT-1 のパッチをバックアップすると、
ライブラリーに保存されます。

ライブセット

いくつかのパッチをグループにしたものです。
BOSS TONE CENTRAL からダウンロードしたパッチや、
TONE STUDIO でバックアップしたパッチは、ライブセット
としてまとめられ、TONE STUDIO 内のライブラリーに保存
されます。
好みのパッチを集め、オリジナルのライブセットを作ること
もできます。

TONE STUDIO をインストールする

メモ

TONE STUDIO をインストールする前に、「USB ドライバー
をインストールする」(P.1) に従って、お使いのパソコンに
USB ドライバーがインストールされている必要があります。

Windows をお使いの場合

1. 製品サポート・ページから「BOSS TONE STUDIO for GT-1」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍し
ます。
3. 解凍してできたフォルダー内の「BOSS TONE STUDIO
for GT-1.exe」をダブルクリックします。
インストールが始まります。
インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
「インストールを完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンを
クリックします。

Mac OS をお使いの場合

1. 製品サポート・ページから「BOSS TONE STUDIO for GT-1」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍し
ます。
3. 解凍してできたファイルをダブルクリックします。
「BOSS TONE STUDIO for GT-1」アイコンと、「Applications
フォルダ」アイコンが表示されます。
4. 「BOSS TONE STUDIO for GT-1」アイコンを
「Applications フォルダ」アイコンにドラッグ & ドロップ
します。
アプリケーションに BOSS TONE STUDIO for GT-1 が追加され
ます。
手順 3 で開いたフォルダーは閉じてください。

USB ドライバーをインストールする

TONE STUDIO を使う前に、お使いの製品に応じた USB ドライ
バーをパソコンにインストールします。

1. 製品サポート・ページから GT-1 Driver をダウンロードし ます。

最新の USB ドライバーは、以下の URL にアクセスし、お使いの
機種にあったドライバーをダウンロードします。

<https://www.boss.info/jp/support/>

2. ダウンロードした GT-1 Driver をダブルクリックします。

インストールが始まります。
インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
「インストールを完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンを
クリックします。
お使いのパソコンに GT-1 Driver がインストールされます。

TONE STUDIO を起動する

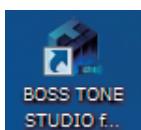
1. GT-1をパソコンとUSBケーブルで接続し、GT-1の電源を入れます。

メモ

GT-1とパソコンをUSBケーブルで接続しなくても、ライブセットの編集と、BOSS TONE CENTRALからのライブセットのダウンロードはできます。

ただし、パッチをエディットした結果を保存することはできません。保存にはパソコンとの接続が必要です。

2. TONE STUDIO のショートカット・アイコンをダブルクリックします。



初めての起動時には、「接続するデバイスを選択してください。」ダイアログが表示されます。

メモ

2回目以降の起動時は、デバイスは自動で選ばれます。手順4に進みます。

Mac OS をお使いの場合

Finderから、アプリケーション・フォルダ内の「BOSS TONE STUDIO for GT-1」をダブルクリックします。

3. 「GT-1」を選び、[OK] ボタンをクリックします。



TONE STUDIO が起動します。

メモ

GT-1からデータを読み込むため、TONE STUDIOが使えるようになるまで時間がかかることがあります。

パッチをエディットする

ユーザー・パッチ「U01 Hi GAIN STACK」をエディットする例を説明します。

1. TONE STUDIO 画面の左上にある [EDITOR] ボタンをクリックします。



2. エディットしたいパッチをクリックします。ここでは、「U01 Hi GAIN STACK」をクリックします。



- 3.** エフェクト・チェイン画面(画面上部)のエフェクトの中から、エディットしたいエフェクトのアイコンをクリックします。ここでは、[PrA] (プリアンプ) アイコンをクリックします。
クリックしたエフェクトのアイコンが青く点灯し、エフェクトの設定が表示されます。



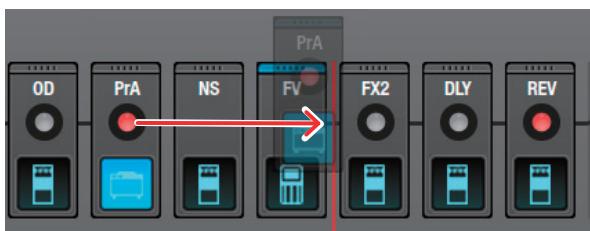
4. エフェクトをエディットします。

メモ

- プリアンプの種類を変更したいときは、アンプ名の右側にある [▼] ボタンをクリックして選びます。



- エフェクト・チェイン画面の各種エフェクトは、配置を変更することもできます。移動したいエフェクトをドラッグ & ドロップします(赤で表示された場所に移動することができます)。



- 5.** 他のエフェクトもエディットするには、手順3～4を繰り返します。

エディットしたエフェクトを GT-1 に保存する (WRITE)

エディットしたエフェクトを GT-1 に保存します。

- 1.** TONE STUDIO 画面の右上にある [WRITE] ボタンをクリックします。



「上書きするパッチを指定してください。」ダイアログが表示されます。

- 2.** 保存先のユーザー・パッチの番号を選びます。

ここでは、「U02」を選びます。



ご注意!

保存すると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

- 3.** ユーザー・パッチ名を変更するには、ユーザー・パッチ名の欄をクリックします。カーソルが表示されるので、パソコンのキーボードでユーザー・パッチ名を入力します。



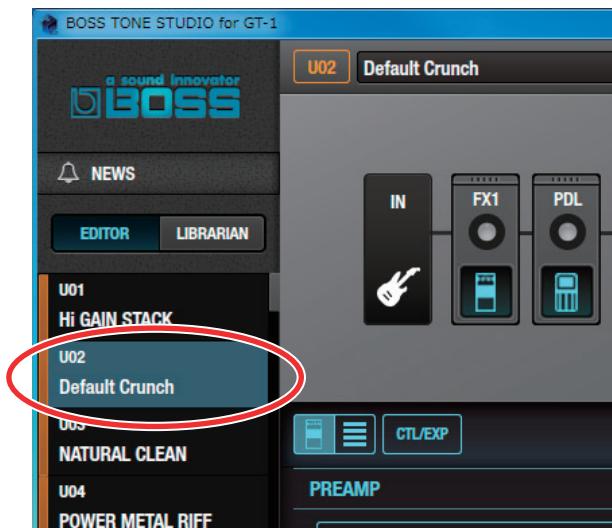
4. 必要に応じてカテゴリーを選びます。

1つのパッチに対して、2つのカテゴリーを選べます。



5. [OK] ボタンをクリックします。

指定したユーザー・パッチにエディットしたエフェクトが保存されます。



エフェクトの設定を一覧する

一覧表示ボタンをクリックすると、エフェクトの設定を一覧で表示することができます。

ここで設定をエディットすることもできます。



コントローラーの設定をする

トップパネルの【CTL1】スイッチや、エクスプレッション・ペダル (EXP1)、リア・パネルの CTL2, 3/EXP2 端子に接続するエクスプレッション・ペダルやフットスイッチにはさまざまな機能を割り当てることができます。

1. TONE STUDIO 画面の【CTL/EXP】ボタンをクリックします。



各コントローラーの設定画面が表示されます。

2. 機能を割り当てます。



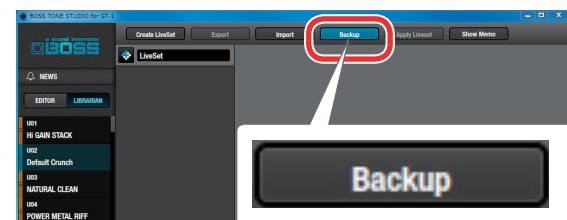
GT-1 の全ユーザー・パッチを TONE STUDIO に保存する (Backup)

GT-1 の全ユーザー・パッチを TONE STUDIO のライブラリーに保存 (バックアップ) します。全ユーザー・パッチはライブセットとして保存されます。

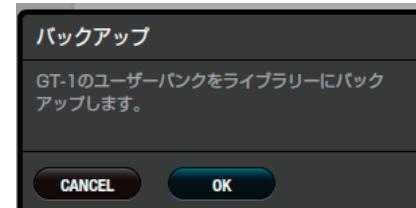
1. TONE STUDIO 画面の【LIBRARIAN】ボタンをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある【Backup】ボタンをクリックします。



「バックアップ」ダイアログが表示されます。

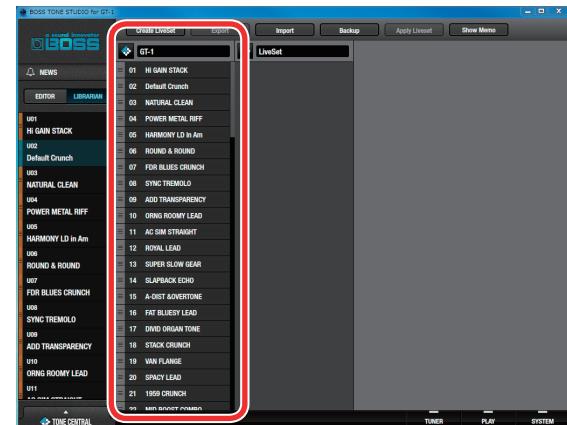


3. [OK] ボタンをクリックします。

「バックアップが完了しました。」と表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

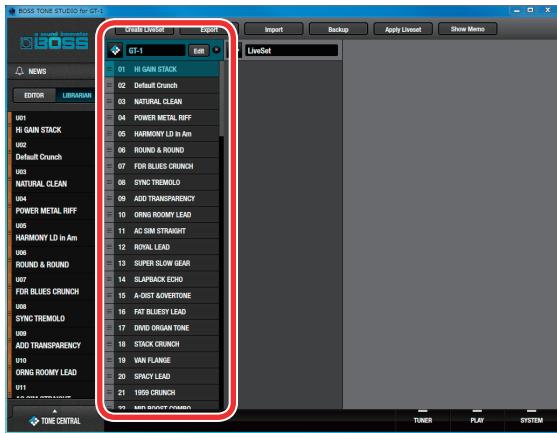
TONE STUDIO のライブラリーに、ユーザー・パッチがライブセット形式で保存されます。



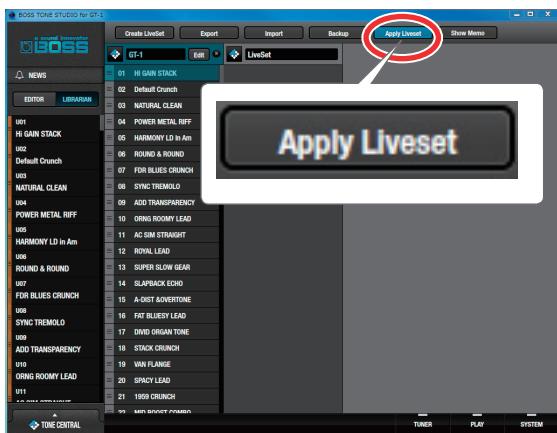
バックアップしたライブセットを GT-1 に書き戻す

バックアップで保存したライブセットを GT-1 のユーザー・パッチに書き戻します。

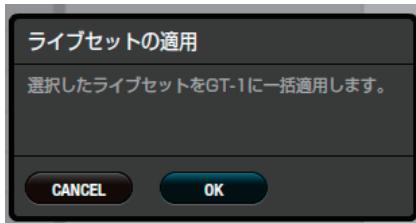
1. 書き戻したいライブセットをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある [Apply Liveset] ボタンをクリックします。



「ライブセットの適用」ダイアログが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックします。

選んだライブセットが GT-1 に書き戻されます。

パッチを GT-1 に書き戻す

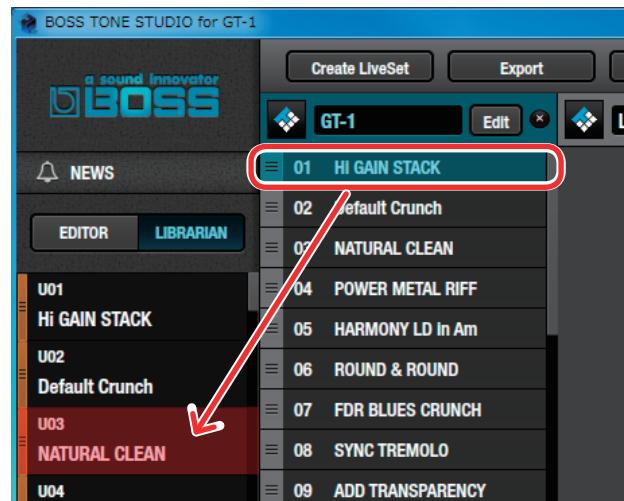
バックアップで保存したライブセットの中から、パッチを選んで GT-1 に書き戻します。

1. 書き戻したいパッチを、希望する GT-1 のユーザー・パッチ番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意！

パッチをドロップすると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

ここでは「01 Hi GAIN STACK」というパッチを「U03 NATURAL CLEAN」にドラッグ&ドロップしています。



GT-1 でユーザー・パッチ「U03」を選びと、書き戻したパッチが使えます。

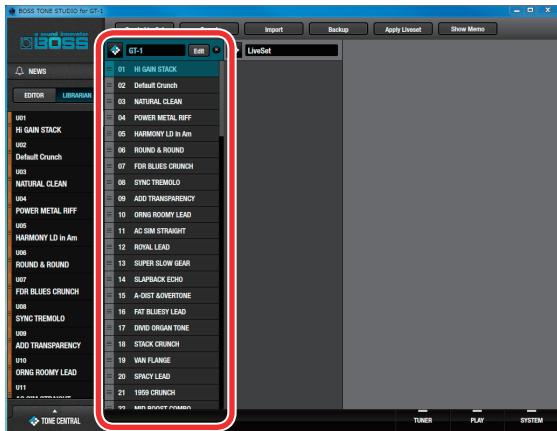
メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選ぶこともできます。

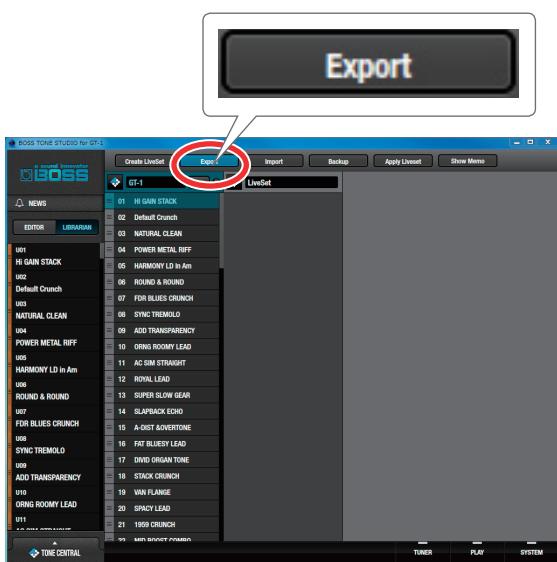
ライブセットをパソコンに保存する (Export)

バックアップしたライブセットをパソコンに書き出すことができます（エクスポート）。

1. パソコンに書き出したいライブセットをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。



「ライブセットのエクスポート」ダイアログが表示されます。

メモ

ファイル名はライブセットの名前が入りますが、好きなファイル名に変更することもできます。

3. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。

「エクスポートが完了しました。」メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

保存先にライブセット・ファイル（ライブセットの名前 .tsl）が作成されます。

エクスポートしたライブセットの使いかたの例

- USB メモリーなどを使って、別のパソコンにライブセットをコピーする
- メールなどを使って、他の GT-1 ユーザーにライブセットを送る

パソコンに保存したライブセットをライブラリーに取り込む (Import)

パソコンに書き出したライブセットを TONE STUDIO のライブラリーに取り込むことができます（インポート）。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。



「ライブセットのインポート」ダイアログが表示されます。

メモ

ライブセットの名前は自動的にファイル名から取り込まれます。このときファイル名に 2 バイト文字が含まれている場合は、ライブセットの名前に反映されません。

2. ライブラリーに取り込みたいライブセット・ファイル（拡張子 :tsl）を選び、[開く] ボタンをクリックします。

Import が完了すると、「インポートが完了しました。」と表示されます。

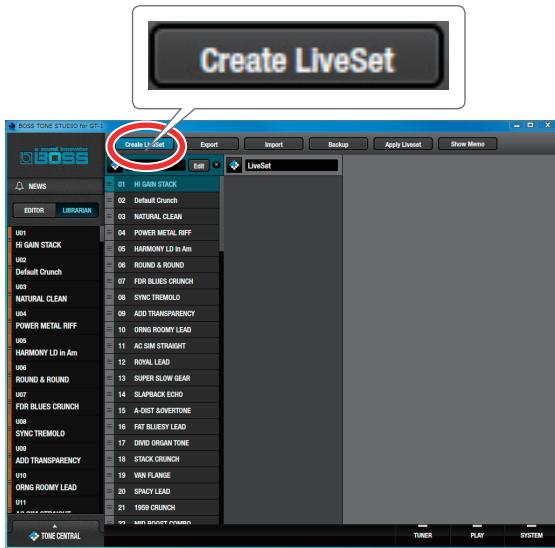
3. [OK] ボタンをクリックします。

TONE STUDIO のライブラリーに、ライブセットが取り込まれます。

オリジナルのライブセットを作る

好みのパッチだけを集めた、オリジナル・ライブセットを作ることができます。

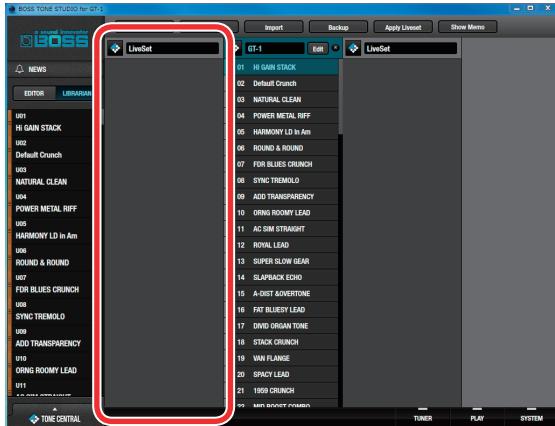
1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Create LiveSet] ボタンをクリックします。



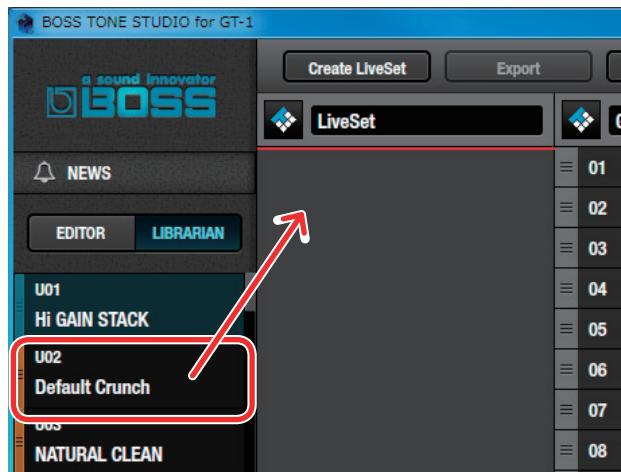
「新しいライブセットを作成しました。」メッセージが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

パッチが登録されていない空のライブセットが作られます。



3. TONE STUDIO 画面の左のパッチ・リストの中から、好みのパッチを新しいライブセットにドラッグ&ドロップします。



選んだパッチが、新しいライブセットに登録されます。

メモ

- ひとつのライブセットに登録できるパッチの数の上限は 400 です。パッチを挿入することで 400 パッチを超えた場合、400 を超えた分のパッチは挿入されません（メッセージが表示されます）。
- 別のライブセット内に登録されているパッチを、新しいライブセットへドラッグ&ドロップすることもできます。
- ライブセット内のパッチは、ドラッグ&ドロップで並び替えすることができます。

パッチをコピーする

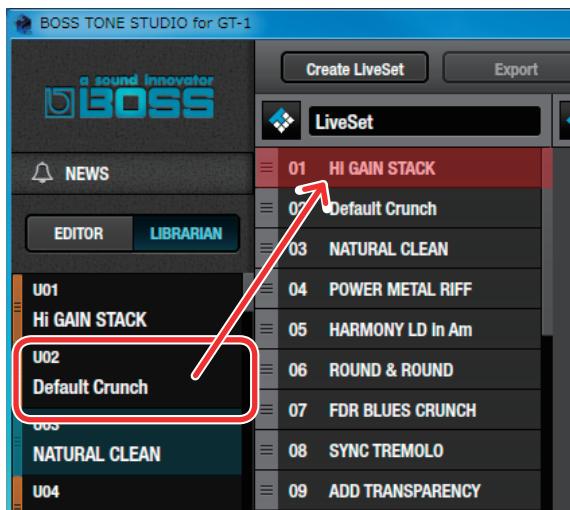
パッチを別のライブセットやGT-1のパッチにコピーすることができます。

1. コピーしたいパッチを選びます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9)に従って、複数のパッチを選んでコピーすることもできます。

2. 選んだパッチを、希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。



ご注意！

パッチをドロップすると、赤色で選んだエリアのパッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいパッチを選んでください。

メモ

- 連続していないパッチを選んでコピーした場合は、連続したパッチとしてコピーされます。



- ひとつのライブセットに登録できるパッチの数の上限は400です。パッチを挿入することで400パッチを超えた場合、400を超えた分のパッチは挿入されません(メッセージが表示されます)。
- ライブセット内に登録されているパッチを、自身のライブセットや新しいライブセットへコピーすることもできます。自身のライブセットにパッチをコピーするときは、以下のように操作します。

お使いのパソコン	操作
Windows	パソコンの[Ctrl]キーを押しながら、パッチをドラッグ&ドロップします。
Mac OS	パソコンの[option]キーを押しながら、パッチをドラッグ&ドロップします。

複数のパッチを選ぶ

パソコンのマウスとキーボードを組み合わせて使うと、パッチをまとめて選ぶことができます。

パッチを範囲で選ぶ

連続した範囲でパッチを選ぶことができます。

1. 選びたいパッチの先頭をクリックします。
2. パソコンのキーボードの[Shift]キーを押しながら、選びたいパッチの末端をクリックします。

クリックしたパッチの先頭から末端までが選ばれます。

パッチを個別に選ぶ

クリックしたパッチだけを個別に選ぶことができます。

1. パソコンのキーボードの[Ctrl]キーを押しながら、選びたいパッチをクリックします。

クリックしたパッチが選ばれます。選ばれたパッチは、ハイライトで表示されます。

Mac OSをお使いの場合

パソコンのキーボードの[command]キーを押しながら、選びたいパッチをクリックします。

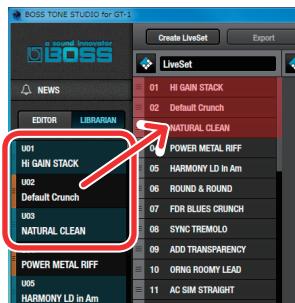
2. さらに選びたいパッチがある場合は、手順1を繰り返します。

[Ctrl]キーを押しながら、選ばれたパッチ(ハイライトで表示されたパッチ)を再度クリックすると、解除されます(ハイライトが消えます)。

複数のパッチを選んでコピーするときの操作の違いについて

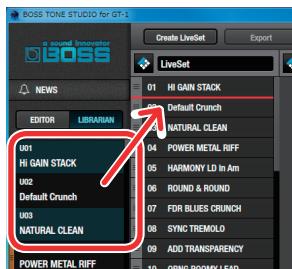
選んだパッチをドラッグ & ドロップするとき、マウスの操作によってコピーの結果に違いがあります。

コピー先に赤色のエリアを表示させてドラッグ & ドロップする（上書きコピー）



赤色で表示されたエリアにパッチがコピーされます。

コピー先のパッチとパッチの間にドラッグ & ドロップする（挿入）



赤線の位置にパッチが挿入されます。以降のパッチは後ろにずれます。

パッチを移動する

パッチを別のライブセットやGT-1のパッチに移動することができます。パッチを移動すると元の場所からはなくなります。

1. 移動したいパッチを選びます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選んで移動することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Alt] キーを押しながら、選んだパッチを希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

Mac OSをお使いの場合

パソコンのキーボードの [command] キーを押しながら、ドラッグ & ドロップします。

パッチを削除する

不要なパッチを削除します。

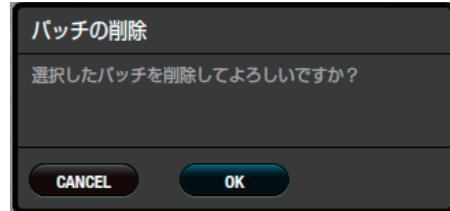
1. 削除したいパッチを選びます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選んで削除することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Delete] キーを押します。

「パッチの削除」メッセージが表示されます。



ご注意！

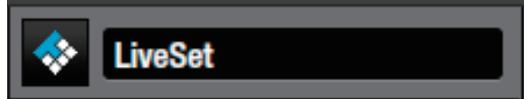
削除したパッチは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

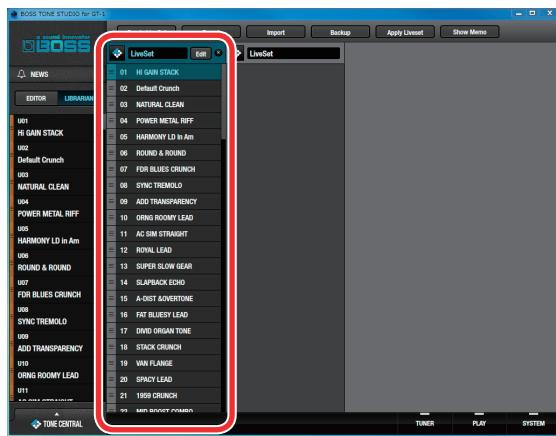
選んだパッチが削除されます。

ライブセットをエディットする

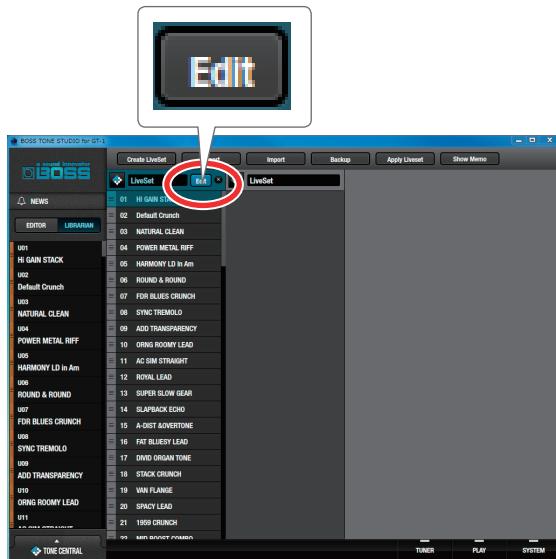
ライブセットに名前を付けたり、アイコンによる目印を付けたりすることができます。



1. エディットしたいライブセットをクリックします。

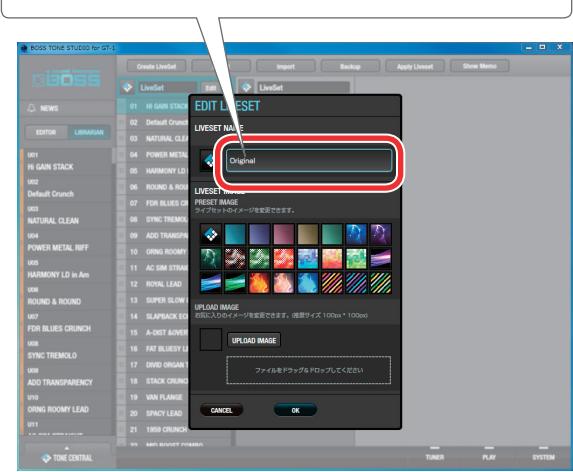
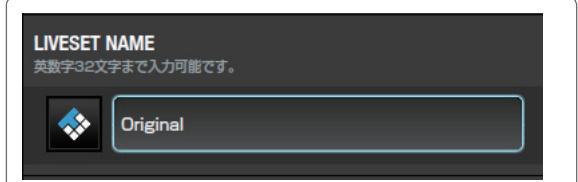


2. ライブセット名の右の [EDIT] ボタンをクリックします。

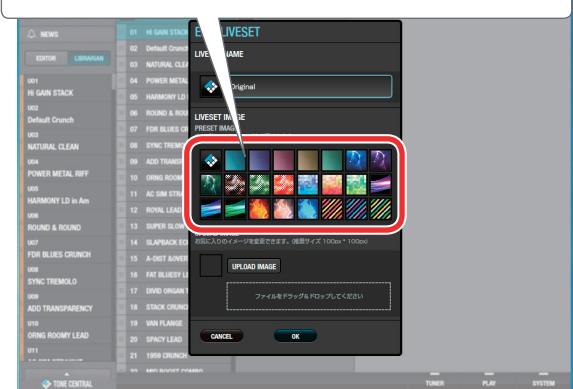


「EDIT LIVESET」ダイアログが表示されます。

3. ライブセット名をクリックし、パソコンのキーボードでライブセット名を入力します。



4. PRESET IMAGEの中からアイコンを選びます。



5. [OK] ボタンをクリックします。

オリジナルのイラストをアイコンにする

好きなイラストを準備し、ライブセットのアイコンに割り当てることもできます。



[UPLOAD IMAGE] ボタンをクリックしてイラスト・ファイルを選ぶか、イラスト・ファイルを図の枠線内にドラッグ & ドロップします。

メモ

アイコンに使用できるイラストは、JPG 形式、GIF 形式、PNG 形式です。イラストの推奨サイズは 100×100 ピクセルですが、サイズが異なっても自動的に調整されます。



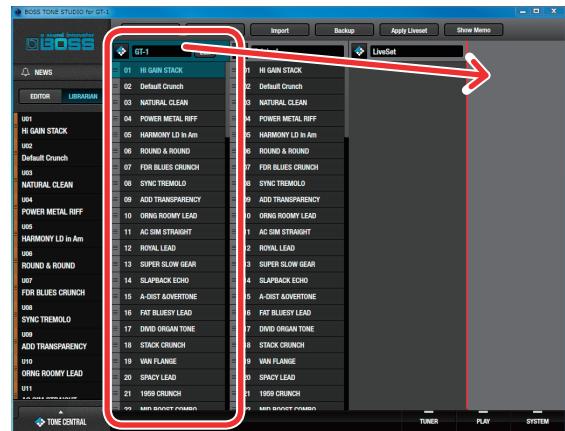
ライブセットを並び替える

表示するライブセットを並び替えることができます。

1. 並び替えたいライブセットをクリックします。

2. ライブセット名をドラッグ & ドロップします。

赤線の位置にライブセットが移動します。



ライブセットの表示を切り替える

パッチが持つメモ情報の表示をオン／オフすることができます。メモ情報の表示がオフの状態では、一画面で多くのパッチを表示することができます。

1. [Show Memo] ボタンをクリックすると、パッチのメモ情報が表示されます。

このとき [Hide Memo] ボタンをクリックすると、パッチのメモ情報が消えます。

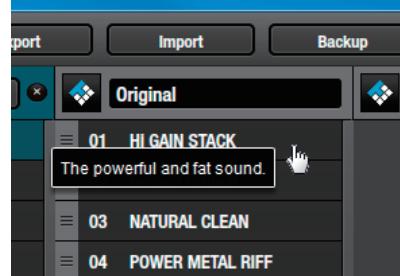


メモ表示 OFF

メモ表示 ON

メモ

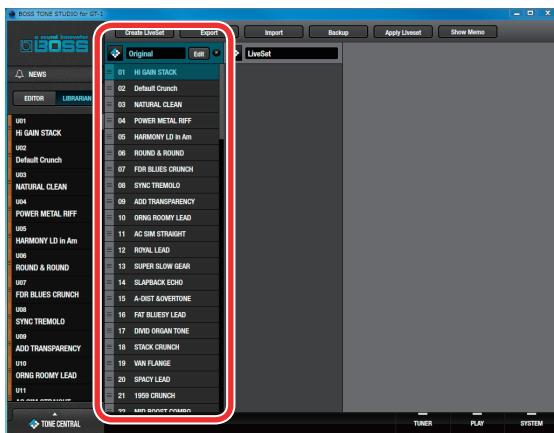
メモ表示が OFF でもパッチ名にマウス・カーソルを合わせるとメモをポップアップで表示することができます。



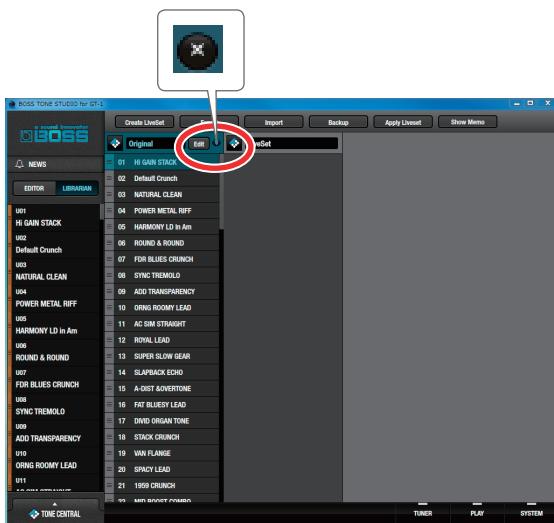
ライブセットを削除する

不要になったライブセットを削除することができます。

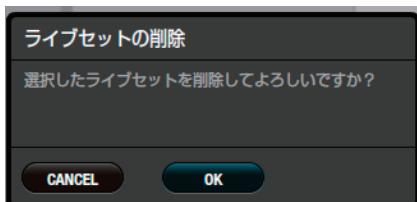
1. 削除したいライブセットをクリックします。



2. [X] ボタンをクリックします。



「ライブセットの削除」ダイアログが表示されます。



ご注意！

削除したライブセットは、元に戻すことはできません。削除を中止するには【CANCEL】ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

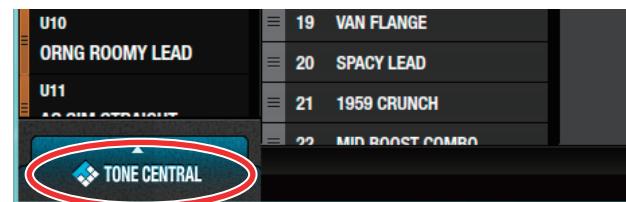
選んだライブセットが、削除されます。

BOSS TONE CENTRAL のライブラリーを使う

BOSS TONE CENTRAL からライブセットをダウンロードする

BOSS TONE CENTRAL で公開されているライブセットをダウンロードして、GT-1 で使うことができます。

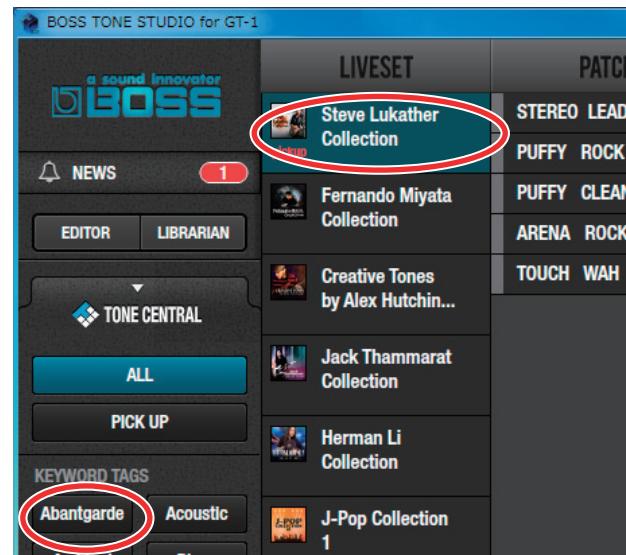
1. TONE STUDIO 画面左下にある [TONE CENTRAL] ボタンをクリックします。



BOSS TONE CENTRAL で公開されているパッチの一覧、パッチの解説が表示されます。

2. KEYWORD TAGS の中からお好みのジャンルを選び、LIVESET (ライブセット) の中からダウンロードしたいライブセットを選びます。

ここでは、「Steve Lukather Collection」を選びます。



3. 画面下部の [ライブラリーに追加] ボタンをクリックします。

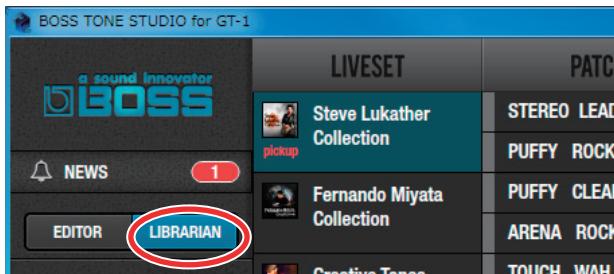


ライブセットがダウンロードされ、「ライブラリーに追加しました。」と表示されます。

メモ

BOSS TONE STUDIO からのダウンロードは、ライブセット単位です。パッチ単位でのダウンロードや、ライブラリーへの追加はできません。

4. 第二度 [LIBRARIAN] ボタンをクリックします。



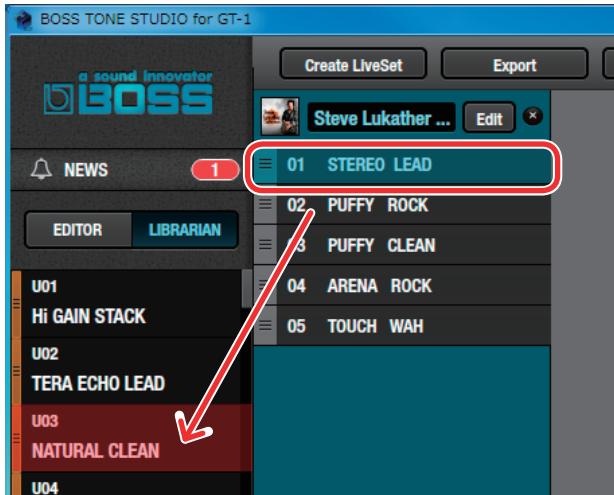
ダウンロードしたライブセットが表示されます。

5. ダウンロードしたライブセットの中のパッチを、希望する GT-1 のユーザー・パッチ番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意！

パッチをドロップすると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

ここでは「01 STEREO LEAD」というパッチを「U03 NATURAL CLEAN」にドラッグ&ドロップしています。



GT-1 でユーザー・パッチ「U03」を選ぶと、追加したパッチが使えます。

オーディオ・プレーヤーを使う

TONE STUDIO に内蔵のオーディオ・プレーヤーでオーディオ・データを聞くことができます。
バックingなどのオーディオ・データを用意すれば、GT-1 の音とミックスして演奏を楽しむことができます。

オーディオ・データを再生する

TONE STUDIO で再生できるオーディオ・データの仕様は以下のとおりです。

- サンプリング周波数: 44.1 kHz
- 量子化ビット数: 16 ビット (リニア)
- チャンネル数: 2 チャンネル (ステレオ)
- 形式: WAV

オーディオ・データを取り込んで再生する

- あらかじめ、再生したいオーディオ・データをパソコンに用意しておきます。
- TONE STUDIO 画面の右下にある [PLAY] ボタンをクリックします。



3. [IMPORT] ボタンをクリックします。



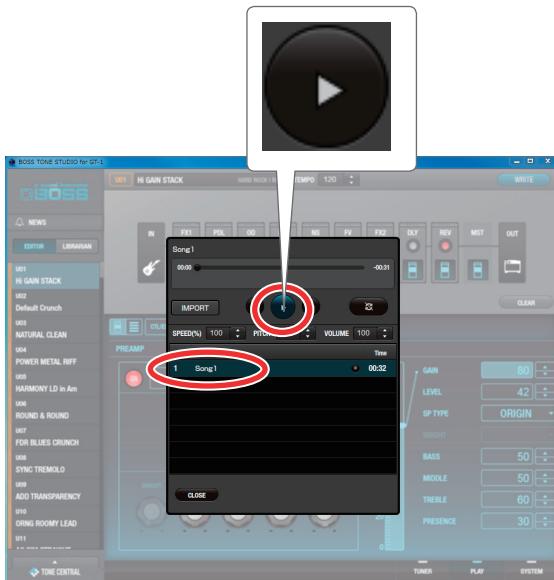
「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。

4. 再生したいオーディオ・ファイルを選び、[開く] ボタンをクリックします。

オーディオ・ファイルがオーディオ・プレーヤーに取り込まれ、リストに表示されます。

5. リストの中から取り込んだオーディオ・ファイルを選び、[▶] ボタンをクリックします。

オーディオ・ファイルが再生されます。



オーディオ・データをループ再生する

1. 「オーディオ・データを取り込んで再生する」(P.14) の手順 1 ~ 4 に従って、再生したいオーディオ・ファイルを準備します。

2. ループ・ボタンをクリックします。

ループの方法が選べるようになります。

3. ループ・アイコンをクリックしてループの方法を選びます。



ループ・アイコン	ループの方法
	ループしません (最後まで再生したら止まります)。
	選んだ曲をループして再生します (選んだ曲を何度も繰り返して再生します)。
	リストの曲を順番に再生し続けます (リストの最後の曲を再生し終わったら、先頭の曲に戻って再生を続けます)。

4. もう一度ループ・ボタンをクリックします。

元の表示に戻ります。

メモ

元の表示に戻しても、選んだループの方法は有効です。

再生スピードやピッチを変更する

オーディオ・データの再生スピードや、ピッチを調整することができます。



メモ

設定は [▼] [▲] ボタンの他、数値をパソコンのキーボードから入力して設定することもできます。

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選ぶ

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選びます。

1. TONE STUDIO 画面の右下にある [SYSTEM] ボタンをクリックします。

SYSTEM 画面が表示されます。



2. [デバイス設定] をクリックします。

デバイス設定画面が表示されます。

3. 表示されたデバイスの中から [GT-1] をクリックします。



4. [OK] ボタンをクリックします。

デバイスの設定を詳細に設定する

MIDI データやオーディオ信号の入出力先を、詳細に設定することができます。

- 「TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選ぶ」(P.16) の手順 1 ~ 3 のあと、[DETAIL] ボタンをクリックします。



CONNECTION 画面が表示されます。

- MIDI の入出力、オーディオ信号の入出力を設定します。



メモ

MIDI IN と MIDI OUT は、同じ種類を選んでください。違う設定を選ぶと、接続できません。